

目次

県民、**法人**、市町村、事業関係者アンケート調査表
(案)

朱 書：中間評価からの変更点

黄色マーカー：第3回委員会からの変更点

内 容	ページ
県民アンケート	県民－ 1～16
法人アンケート	法人－ 1～6
市町村アンケート	市町村－
森林整備全般【市町村用】アンケート ※新設	1～2
人工林整備事業【事業実施市町村用】アンケート	3～5
里山林整備事業【事業実施市町村用】アンケート	7～11
里山林整備事業【事業未実施市町村用】アンケート	13～16
都市緑化推進事業【市町村用】アンケート	17～19
環境活動・学習推進事業【市町村用】アンケート ※新設	21～24
木の香る学校づくり推進事業【市町村用】アンケート	25～28
愛知県産木材利活用推進事業【市町村用】アンケート ※新設	29～31
事業関係者アンケート（市町村を除く）	関係者－
人工林整備事業【森林所有者用】アンケート	1～2
人工林整備事業【事業体用】アンケート	3
里山林整備事業【森林所有者用】アンケート	5～7
里山林整備事業【地域活動団体用】アンケート	9～10
森林整備技術者養成研修【事業体用】アンケート	11～13
森林整備技術者養成研修【受講者用】アンケート	15～17
都市緑化推進事業【芝生化事業者用】アンケート ※新設	19～21
都市緑化推進事業【民間事業者用】アンケート ※新設	23～24
環境活動・学習推進事業【事業実施団体用】アンケート ※新設	25～28
木の香る学校づくり推進事業【導入校用】アンケート	29～31
木の香る学校づくり推進事業【製造業者用】アンケート	33～34
愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入）【導入施設用】アンケート ※新設	35～36
愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入）【製造業者用】アンケート ※新設	37～38

同封する資料：事業PR用パンフレット

事例報告パンフレット

あいち森と緑づくり事業についてのアンケート (一般県民対象)

はじめに（アンケートの実施にあたって）

愛知県では、将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくため、「あいち森と緑づくり税」※¹を活用して、森林、里山林、都市の緑をバランスよく守り育てる取組として「あいち森と緑づくり事業」※²を進めています。

本事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

そこで、県民の皆様から、本事業のこれまでの取組や今後の方向性等について御意見をお聞きし、事業評価や今後の取組の検討の参考とさせていただくために、県民アンケートを実施することになりました。

お忙しいところ申し訳ありませんが、御協力をよろしくお願いします。

※¹ あいち森と緑づくり税

森と緑が持つ環境保全や災害防止などの様々な働きを高めるため、森と緑づくり事業の財源として、平成21年度から県民税均等割の額に一定額を上乗せして、御負担いただいているものです。

（税の徴収期間は、現在、条例で平成30年度までと定められています。）

- 個人年額 500 円増し
- 法人 5%増し（年額 1,000 円～40,000 円増し）

※² あいち森と緑づくり事業

あいち森と緑づくり税を財源として、山間部における人工林の間伐や都市の緑化など、県内の森林、里山林、都市の緑をバランスよく守り育てる新たな取組を行っている事業です。

◆あいち森と緑づくり事業の考え方

- 森と緑は、環境保全や災害防止等の様々な働きを通じて、私たちの安心、安全で快適な暮らしを支えている
- 森林・里山林の手入れ不足や都市の緑の減少により、その働きが衰えてしまうことが心配されている

既存の森と緑づくり施策の推進
(森林整備事業、都市公園整備事業等)

+

森と緑づくりのための新たな施策
【あいち森と緑づくり事業】

バランスよく整備、保全

都市の緑

森林(人工林)

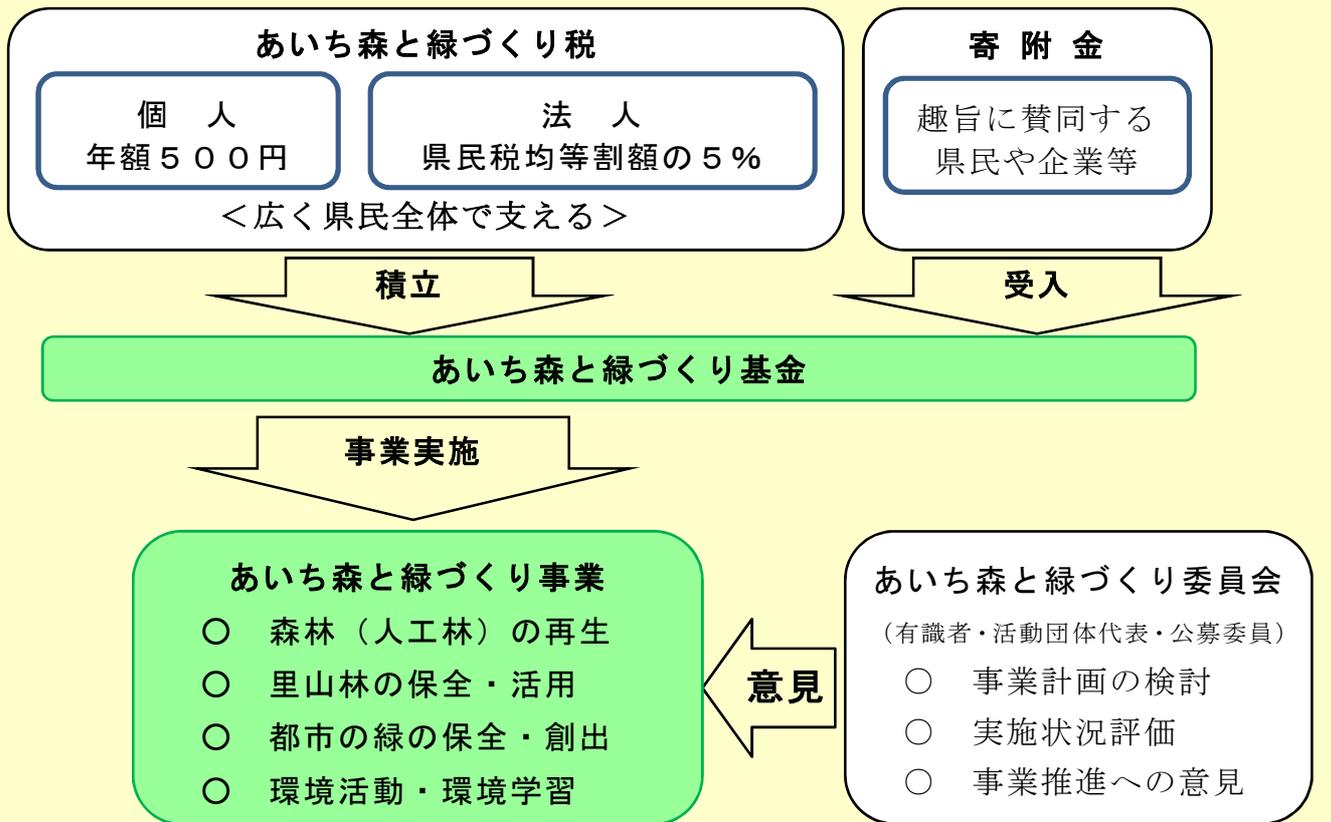
里山林

山から街まで緑豊かな愛知の実現

【事業理念】

- 森と緑の公益的機能の発揮
- 森と緑を県民共有の財産として皆で支える

◆事業の仕組み



<アンケートに出てくる用語の解説>

本文中に※印を付しています。(同じことばが何度も使われている場合は、一番始めのことばに※印を付しています。)

○間伐 (かんばつ)

木の成長に応じて、密植された森林の木を間引きして伐採する作業のことで、残した木の生長を促すとともに、森林の様々な働きを高める効果があります。

○公益的機能 (こうえきてききのう)

水を蓄えたり、災害を防止したり、生物多様性を保全したり、ヒートアイランド現象を緩和したりするなど、森と緑が持つ様々な働きのこと。

○里山林 (さとやまりん)

かつて人々が暮らしの中で、薪(まき)や落ち葉などを燃料や肥料に利用することで維持管理されてきた森林で、県内ではコナラなどの広葉樹が生える雑木林となっています。

○人工林 (じんこうりん)

植林など人の手によって造られた森林で、県内の三河山間部では住宅などで広く使われているスギやヒノキなどの針葉樹が植えられています。

○水源かん養 (すいげんかんよう) 機能

土壌が、スポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより洪水や渇水を緩和したり、水質を浄化したりする働きのこと。

○ビオトープ

気候条件、生物的・非生物的要素の分布状態などによって他と区別される動植物の生息場所。一般的には、都市に限らず、農村や山林等も含むあらゆる場所において生き物の住み着くことのできる場所を示します。都市内においても、コンクリート等の単一の材料で整備するのではなく、より多様性のある自然に近い状態に整備することを、都市内のビオトープ整備と呼んでいます。

県民アンケート 目次

ページ

I 森と緑の働きについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

II 「あいち森と緑づくり税」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

III 人工林整備事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

IV 里山林整備事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

V 都市緑化推進事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

VI 環境活動・学習推進事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

VII 普及啓発事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

VIII 「あいち森と緑づくり事業」の今後について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○

現在の
取組

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いもの（番号）を○で囲んでください

I 森と緑の働きについて

本県には、三河山間部の森林（人工林※）、名古屋圏を中心とする都市の緑、その中間にある里山林※と、守り育て将来に引き継いでいかなければならない森と緑がたくさんあります。

問1 森と緑は、環境の保全や災害の防止など様々な公益的機能※により、私たちの暮らしを支えています。あなたは、このことについて知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 近年、木材価格の低迷により、森林所有者による人工林の手入れが不足したり、開発等により都市の緑が減少するなど、森と緑の持つ様々な公益的機能がだんだん低下していき、心配されています。

あなたは、このことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. 必要と思う
2. 必要と思わない

【理由】

（理由を記入するスペース）

Ⅱ 「あいち森と緑づくり税」について

問1 このアンケート調査の前に「あいち森と緑づくり税」のことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 「あいち森と緑づくり税」を使った人工林の間伐※や都市緑化などの森と緑を守り育てる取組を必要と思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. 必要と思う
2. 必要と思わない

【理由】

()

次ページからは、「あいち森と緑づくり事業」の個々の事業についてお尋ねします。

Ⅲ 人工林整備事業について

「人工林整備事業」： 水源かん養※、土砂の流出防止等の公益的機能を発揮させるため、手入れの遅れたスギ・ヒノキの人工林を間伐する事業。

問1 間伐は、森林（人工林）の公益的機能を高めることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業で、県内の手入れの遅れた人工林を間伐していることを知っていますか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あいち森と緑づくり事業による人工林の間伐を、見たこと、聞いたことがありましたか。

1. 見たこと、聞いたことがあった
2. 見たことも聞いたこともなかった
3. 間伐は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も人工林の間伐を続けた方がよいと思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問5 人工林整備について、御意見、御感想などがありましたら自由にお書きください。

()

IV 里山林整備事業について

「里山林整備事業」： 放置された里山林を対象に、**生活環境の保全や災害の防止**、生物多様性の**保全**などの公益的機能を回復させるため、枯れたり、支障となる木の抜き伐りや侵入竹の伐採などの森林の手入れ、簡易な柵工・土留工等の設置、作業小屋や管理道などの施設整備を行う事業

問1 **生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全などの公益的機能を回復させるため**、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備をしていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、見たこと、聞いたことがありましたか。

1. 見たこと、聞いたことがあった
2. 見たことも聞いたこともなかった
3. 里山林の整備は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も里山林の整備を続けた方がよいと思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問5 里山林整備について、御意見、御感想などがありましたら自由にお書きください。

()

V 都市緑化推進事業について

「都市緑化推進事業」： 生物多様性の保全やヒートアイランドの緩和など、緑の持つ公益的機能を高めるために都市の緑を守り育てるための事業。

問1 都市の緑には「ヒートアイランド現象の緩和」「生物多様性の保全」「火災延焼防止」などの多様な機能があることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業で、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あなたの住まいの周辺（半径1～2km程度）の緑についてどのように感じますか。

1. 増えてきていると感じる
2. 減ってきていると感じる
3. 変わらない

問4 今後、さらに都市の緑を良くしていくために、愛知県や市町村はどのような取組を行えばよいと思いますか。（複数回答可）

1. 家の庭や生垣の緑化の助成
2. ビル（マンション、オフィスビル等）の屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成
3. 道路の街路樹や中央分離帯の緑化
4. 公園緑地の整備
5. 学校や市役所など公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化
6. 既存民有林の樹林地の買い取り（公有地化）・保護・保全・整備
7. 公園の竹藪（たけやぶ）の伐採などの樹林地整備
8. 学校の校庭などの芝生化
9. ビオトープ※の整備
10. ガーデニングなど身近な緑化についての相談・研修会
11. 花や緑に関するイベントや講演会などによる普及啓発
12. 市民や企業が行う植樹祭や緑化活動への助成
13. その他（

路面電車などの鉄道敷きの緑化を削除

問5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりを持つためには、どのような取組が効果的だと思いますか。(複数回答可)

1. 苗木や花苗の配付
2. ガーデニングなどについての緑化相談や緑化研修会
3. 緑や花に関するイベントや講演会などの普及啓発事業
4. 一般参加できる植樹祭や緑化体験活動
5. 緑化に関する情報の発信
6. 緑と花の活動団体に対する表彰
7. その他

[]

問6 あいち森と緑づくり事業で今後も都市の緑を増やす取組を続けた方がよいと思いますか。(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

[]

問7 都市緑化推進について、御意見、御感想などがありましたら自由にお書きください。

[]

VI 環境活動・学習推進事業について

「環境活動・学習推進事業」：市町村やNPO、ボランティア団体等が行う自発的な「森と緑の保全活動」や「環境学習」を公募し、事業実施に必要な経費（資材の購入、外部講師の謝金など）を交付金で支援する事業。

問1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「森と緑の保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 これまでに問1のような「森と緑の保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない

問3 あなたの身の回りで問1のような「森と緑の保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思いますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. 参加したい
2. 参加したくない

【理由】

()

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も「森と緑の保全活動」や「環境学習」を行うNPOやボランティア団体等の支援を続けた方がよいと思いますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問5 「森と緑の保全活動」や「環境学習」への支援について、御意見・御感想
などがありましたら自由にお書きください。

()

VII 普及啓発事業について

森林整備の意義や、愛知県で生産された木材を活用することの効果について、普及啓発をするため以下の事業を実施しています。

「木の香る学校づくり推進事業」： 公立小中学校の子どもたちの机・椅子、下駄箱、ロッカー等に愛知県産木材を使用した製品の導入を進める事業。
愛知県産の木材が使われることにより、地域の森林整備が進むことが期待されます。

「愛知県産木材利活用推進事業」： 森林の整備を将来にわたって継続的に進めていくため、間伐材の搬出を促進する取組や、県産木材の利用拡大の普及のため公共施設に愛知県産木材のベンチを導入する取組を支援する事業。

問1 愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業で、公立小中学校に愛知県産木材を利用した机・椅子、下駄箱、ロッカーなどの導入を進めていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あいち森と緑づくり事業で、間伐材の搬出を促進する取組や、公共施設に愛知県産木材のベンチを導入する取組を支援していることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問4 あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った机・椅子^{※注}、下駄箱、ロッカー一等が導入されていますか。

1. 導入されているのを見た
2. 聞いたことがある
3. 知らない

※注 机・椅子の全てが木製であるものだけでなく、机の天板や椅子の座面など一部分に愛知県産木材が使用されているものもあります。

問5 あなたの周りの公共施設で愛知県産木材を使った木製ベンチが導入されていますか。

1. 導入されているのを見た
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問6 愛知県産木材を使った机・椅子、下駄箱、ロッカー、ベンチなどの導入は、森林整備の意義や、木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. きっかけとして有効だと思う
2. 有効と思わない
3. 分からない

【理由】

()

問7 あいち森と緑づくり事業で、今後も学校や公共施設に愛知県産木材を使った机・椅子、下駄箱、ロッカー、ベンチ等を導入する取組や、間伐材の搬出を促進する取組への支援を続けた方がよいと思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

最後に、「あいち森と緑づくり事業」の今後についてお尋ねします。

VIII 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

問1 平成31年度以降も「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取組を行うことについてどのように思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. 賛成
2. 反対

【理由】

（理由記入欄）

問2 「あいち森と緑づくり税」を平成31年度以降も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当と思いますか。

1. 現行の年額500円
2. 金額を引き上げる（ 円）
3. 金額を引き下げる（ 円）

⇒次ページへ

問3 「あいち森と緑づくり事業」を平成31年度以降も継続する場合、どのような取組を行えばよいと思いますか。（複数回答可）

1. 高齢化した人工林を若返らせる取組（木を伐って植える）
2. 県産木材・木製品の利用促進
3. 広葉樹を植栽する森づくり
4. シカやイノシシなどの獣害対策
5. 県内の人工林の間伐上流域の森林整備
6. 県内の里山林の整備
7. 景観づくりのための森と緑づくり
8. 防災のための森と緑づくり
9. 被災した森と緑の復旧
10. 生物多様性の保全
11. 都市に残る緑の保全（守る）
12. 都市における緑の創出（増やす）
13. 森と緑づくりに携わる人材の育成
14. 森と緑づくりに関するNPO等の活動支援
15. 森や緑（花を含む）に関するイベントや講演会などによる普及啓発
16. ガーデニングなど身近な緑化についての相談・研修会
17. 都市と山村の交流
18. その他

[]

問4 「あいち森と緑づくり税」、「あいち森と緑づくり事業」について御意見、御感想などがありましたら自由にお書きください。

[]

御協力ありがとうございました

あいち森と緑づくり事業についてのアンケート (法人向け)

はじめに（アンケートの実施にあたって）

愛知県では、将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくため、「あいち森と緑づくり税」※¹を活用して、森林、里山林、都市の緑をバランスよく守り育てる取組として「あいち森と緑づくり事業」※²を進めています。

本事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

そこで、県民の皆様から、本事業のこれまでの取組や今後の方向性等について御意見をお聞きし、事業評価や今後の取組の検討の参考とさせていただくために、**県内の法人を対象に**アンケートを実施することになりました。

お忙しいところ申し訳ありませんが、御協力をよろしくお願いいたします。

※¹ あいち森と緑づくり税

森と緑が持つ環境保全や災害防止などの様々な働きを高めるため、森と緑づくり事業の財源として、平成21年度から県民税均等割の額に一定額を上乗せして、御負担いただいているものです。

（税の徴収期間は、現在、条例で平成30年度までと定められています。）

●個人年額 500 円増し

●法人 5%増し（年額 1,000 円～40,000 円増し）

※² あいち森と緑づくり事業

あいち森と緑づくり税を財源として、山間部における人工林の間伐や都市の緑化など、県内の森林、里山林、都市の緑をバランスよく守り育てる新たな取組を行っている事業です。

◆あいち森と緑づくり事業の考え方

- 森と緑は、環境保全や災害防止等の様々な働きを通じて、私たちの安心、安全で快適な暮らしを支えている
- 森林・里山林の手入れ不足や都市の緑の減少により、その働きが衰えてしまうことが心配されている

既存の森と緑づくり施策の推進
(森林整備事業、都市公園整備事業等)

+

森と緑づくりのための新たな施策
【あいち森と緑づくり事業】

バランスよく整備、保全

都市の緑

森林(人工林)

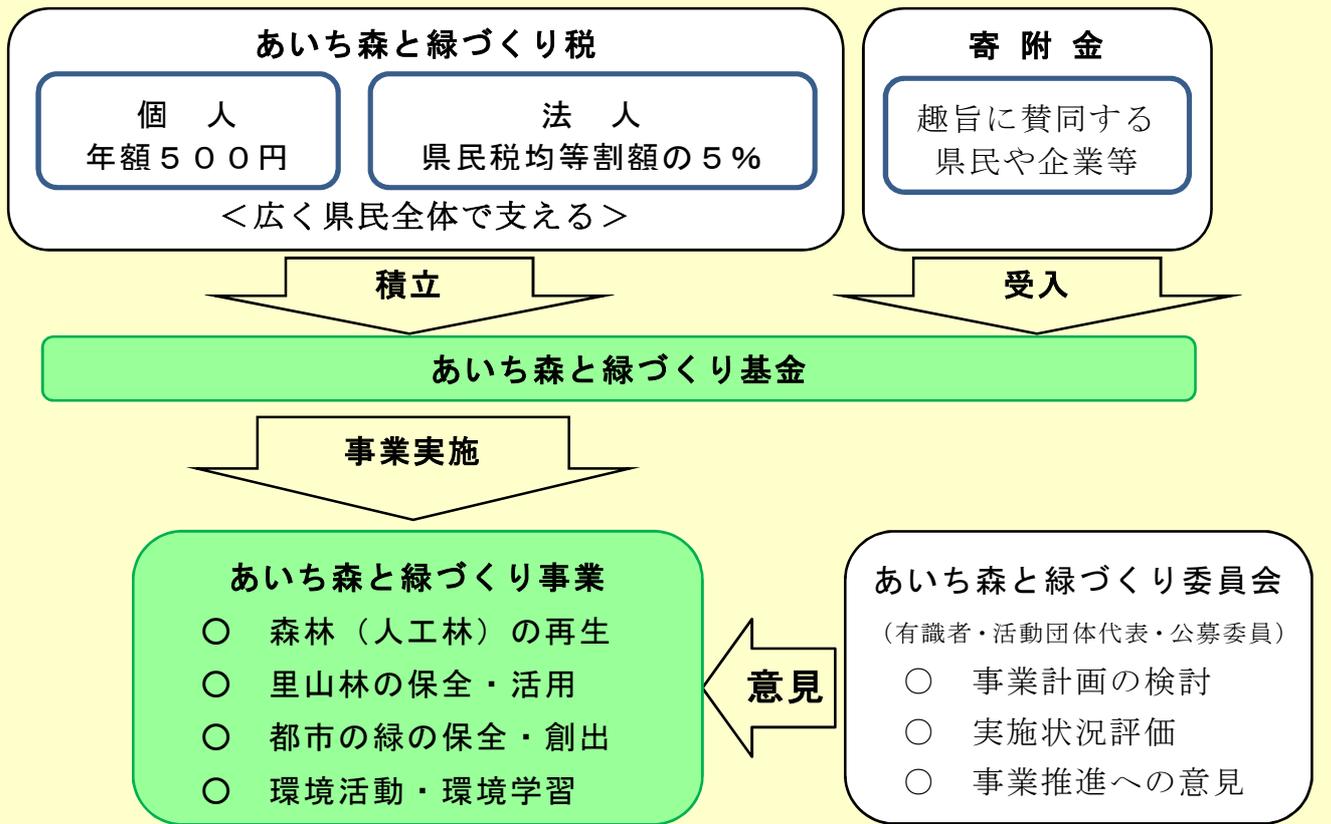
里山林

山から街まで緑豊かな愛知の実現

【事業理念】

- 森と緑の公益的機能の発揮
- 森と緑を県民共有の財産として皆で支える

◆事業の仕組み



<アンケートに出てくる用語の解説>

本文中に※印を付しています。（同じことばが何度も使われている場合は、一番始めのことばに※印を付しています。）

○間伐（かんばつ）

木の成長に応じて、密植された森林の木を間引きして伐採する作業のことで、残した木の生長を促すとともに、森林の様々な働きを高める効果があります。

○里山林（さとやまりん）

かつて人々が暮らしの中で、薪（まき）や落ち葉などを燃料や肥料に利用することで維持管理されてきた森林で、県内ではコナラなどの広葉樹が生える雑木林となっています。

○人工林（じんこうりん）

植林など人の手によって造られた森林で、県内の三河山間部では住宅などで広く使われているスギやヒノキなどの針葉樹が植えられています。

○水源かん養（すいげんかんよう）機能

土壌が、スポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより洪水や渇水を緩和したり、水質を浄化したりする働きのこと。

※以下の問いについて、貴社の考えに一番近いもの（番号）を○で囲んでください

I 森と緑の働きについて

本県には、三河山間部の森林（人工林[※]）、名古屋圏を中心とする都市の緑、その中間にある里山林[※]と、守り育て将来に引き継いでいかなければならない森と緑がたくさんあります。

問1 森や緑の働きの中で、どのような働きが重要だと思いますか。

（3つまで○で囲んでください）

1. 地球温暖化防止（二酸化炭素の吸収、気候の安定化など）
2. 災害防止（洪水、土砂くずれの防止）
3. 水源かん養[※]
4. 大気浄化、騒音緩和（植物による汚染物質の吸収など）
5. ヒートアイランドの緩和
6. 生物多様性保全（野生動植物の生息、遺伝資源の保存など）
7. 美しい都市景観の形成
8. 保健休養、レクリエーション
9. 都市の安全性、防災性の向上（避難場所、延焼の防止など）
10. 木材や林産物の生産
11. その他（内容： _____)

問2 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. 必要と思う
2. 必要と思わない

【理由】

(_____)

Ⅱ 「あいち森と緑づくり事業」について

問3 森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備・保全するための以下の取組について、必要だと思いますか。

(1) 人工林の間伐※

1. 必要と思う 2. 必要と思わない 3. どちらとも言えない

(2) 里山林の整備

1. 必要と思う 2. 必要と思わない 3. どちらとも言えない

(3) 都市緑化の推進

1. 必要と思う 2. 必要と思わない 3. どちらとも言えない

(4) 環境活動・環境学習の推進

1. 必要と思う 2. 必要と思わない 3. どちらとも言えない

問4 本県では、平成21年度から「あいち森と緑づくり税」を活用し、以下の取組を行っていますが、これらの取組を今後も続けた方がよいと思いますか。

(1) 人工林の間伐

1. このまま続けた方がよい 2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい 4. 分からない

(2) 里山林の整備

1. このまま続けた方がよい 2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい 4. 分からない

(3) 都市緑化の推進

1. このまま続けた方がよい 2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい 4. 分からない

(4) 環境活動・環境学習の推進

1. このまま続けた方がよい 2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい 4. 分からない

森林整備全般【市町村用】アンケート (森林を有する全ての市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度(平成29年度)で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業(森林整備事業)について、貴市町村の関係部局の方のお声を聞かせていただき、今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 森林が有する公益的機能の維持増進のため、平成31年度以降も「あいち森と緑づくり事業」を継続して、森林、里山林の適正な整備及び保全に関する取組を行うことについてどのように思いますか。

1. 賛成 (⇒問2へ)
2. 反対 (⇒問3へ)

【理由】

()

問2 問1で「1. 賛成」と答えた方にお聞きします。

「あいち森と緑づくり事業」を平成31年度以降も継続する場合、どのような取組が適当と思いますか。(複数回答可)

1. 高齢化した人工林を若返らせる取組(木を伐って植える)
2. 県産木材・木製品の利用促進
3. 広葉樹を植栽する森づくり
4. シカやイノシシなどの獣害対策
5. 県内の人工林の間伐
6. 県内の里山林の整備
7. 景観づくりのための森と緑づくり
8. 防災のための森と緑づくり
9. 被災した森と緑の復旧
10. 生物多様性の保全

【裏面に続く】

人工林整備事業【市町村用】アンケート (事業実施市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度(平成29年度)で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業(人工林整備事業)に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください

問1 あいち森と緑づくり人工林整備事業を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか。

1. 良くなったと感じる
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

問2 あいち森と緑づくり人工林整備事業の内容は、貴市町村の森林にとって満足できる事業ですか。

1. 満足
2. 既存の事業と変わらない
3. 不満

【理由】

()

問3 あいち森と緑づくり人工林整備事業を進めるうえで、貴市町村では、どのような支障や課題がありましたか。

[]

問4 あいち森と緑づくり人工林整備事業を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 内容を変えて続けた方がよい
3. 続けなくてよい

【理由】

[]

問5 問2で「不満」又は問4で「内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

[]

問6 その他、あいち森と緑づくり事業による人工林の整備について、御意見、御要望などがありましたら自由に書いてください。



御協力ありがとうございました

里山林整備事業【市町村用】アンケート
(事業実施市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度(平成29年度)で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業(里山林整備事業)に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※あいち森と緑づくり事業の3種類の里山林整備事業のうち、貴市町村で実施した事業について御回答ください。

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 次の里山林整備事業を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか。

①提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)について、

1. 良くなった
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

②里山林健全化整備事業(市町村交付金事業)について、

1. 良くなった
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

③里山林再生整備事業(県営事業)について、

1. 良くなった
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

問2 実施した里山林整備事業は、貴市町村の里山林にとって満足できる内容でしたか。

①提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について、

1. 満足
2. 不満

【理由】

②里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について、

1. 満足
2. 不満

【理由】

③里山林再生整備事業（県営事業）について、

1. 満足
2. 不満

【理由】

問3 里山林整備事業の実施後、貴市町村内の他の里山林の保全・活用に対する波及効果があったと思いますか。

①提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について、

1. 他の里山林の整備につながった
2. 里山林の整備について気運が高まった
3. 以前と変わらない

【理由】

②里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について、

1. 他の里山林の整備につながった
2. 里山林の整備について気運が高まった
3. 以前と変わらない

【理由】

③里山林再生整備事業（県営事業）について、

1. 他の里山林の整備につながった
2. 里山林の整備について気運が高まった
3. 以前と変わらない

【理由】

問4 地域の方々から、里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。また、その理由は何ですか。

(1) 市町村の段階で不採択としたことが、

1. あった
2. なかった

(2) ((1) で「あった」と答えた方に) その理由は何ですか。

理 由		有 無
対 象 森 林 で は な か っ た	地域森林計画対象民有林 ではなかった	
	都市近郊(都市計画区域) ではなかった	
	集落や公共施設等の周辺 ではなかった	
	保安林 だった	
	人工林 だった	
	放置された森林 ではなかった	
	「森林と人との共生林」ではなかった	
	1事業地5ha以上 だった(提案型里山林整備事業の場合)	
	公有林 だった (里山林健全化整備事業、里山林再生整備事業の場合)	
	協定が結べなかった	
小面積だった		
事業規模が大きすぎた		
事業内容以外の要望だった		
他事業の案件だった		
そ の 他		

- ・該当する理由の「有無」の欄に「○」を付けてください(複数回答可)。
- ・他に理由があれば、「その他」欄に記入してください。

問5 里山林整備事業を進めるにあたって、支障になっていることがありますか。

1. 地域の里山林の状況が把握できない
2. 地域からの要望の把握ができない
3. 地域からの要望はあるが採択要件に合わない
4. 事業の承諾が得られない
5. 事業の担当部所が明確でない
6. 委託・工事の設計ができない
7. 他の業務で多忙である
8. 事業の制度上に問題がある

【理由】

9. その他（具体的に）

問6 里山林整備事業を、平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 内容を変えて続けた方がよい
3. 続けなくてよい

【理由】

問7 問2で「不満」又は問6で「内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

問8 その他、あいち森と緑づくり事業による里山林の整備について、御意見、御要望などがありましたら自由に書いてください。



御協力ありがとうございました

里山林整備事業【市町村用】アンケート
(事業を実施していない市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（里山林整備事業）について、貴市町村の関係部局の方のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

「里山林整備事業」： 放置された里山林を対象に、生活環境の保全や災害の防止、生物多様性などの公益的機能を回復させるため、枯れたり、支障となる木の抜き伐りや侵入竹の伐採などの森林の手入れ、簡易な柵工・土留工等の設置、作業小屋や管理道などの施設整備を行う事業

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 貴市町村で、里山林整備事業を実施していない理由を教えてください。

1. 事業があることを知らなかった
2. 地域の里山林の状況を把握していない
3. 地域の里山林の状況を把握しているが、事業実施の必要性がない
4. 地域からの要望がない
5. 地域からの要望はあるが採択要件に合わない
6. 事業の承諾が得られない
7. 事業の担当部所が明確でない
8. 委託・工事の設計ができない
9. 他の業務で多忙である
10. 事業の制度上に問題がある

【理由】

11. その他（具体的に）

問2 地域住民等から、里山林整備事業実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。また、その理由は何ですか。

(1) 市町村の段階で不採択としたことが、

1. あった
2. なかった

(2) ((1) で「あった」と答えた方に) その理由は何ですか。

理 由		有 無
対象森林ではなかった	地域森林計画対象民有林 ではなかった	
	都市近郊(都市計画区域) ではなかった	
	集落や公共施設等の周辺 ではなかった	
	保安林 だった	
	人工林 だった	
	放置された森林 ではなかった	
	「森林と人との共生林」ではなかった	
	1事業地5ha以上 だった(提案型里山林整備事業の場合)	
	公有林 だった (里山林健全化整備事業、里山林再生整備事業の場合)	
	協定が結べなかった	
小面積だった		
事業規模が大きすぎた		
事業内容以外の要望だった		
他事業の案件だった		
その他		
<p>・該当する理由の「有無」の欄に「○」を付けてください(複数回答可)。 ・他に理由があれば、「その他」欄に記入してください。</p>		

問3 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 内容を変えて続けた方がよい
3. 続けなくてよい

【理由】

[]

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、平成31年度以降も続けていった場合、貴市町村では事業を実施したいと思いますか。

1. 実施したい
2. 内容が変われば実施したい
3. 実施しない

【理由】

[]

問5 問3で「内容を変えて続けた方がよい」又は問4で「内容が変われば実施したい」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

[]

問6 その他、あいち森と緑づくり事業による里山林整備について、御意見、御要望などがありましたら自由に書いてください。



御協力ありがとうございました

都市緑化推進事業【市町村用】アンケート

(事業実施市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（都市緑化推進事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」： 生物多様性の保全やヒートアイランドの緩和など、緑の持つ公益的機能を高めるために都市の緑を守り育てるための事業。

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を実施した結果、貴市町村の都市の緑が良くなったと感じますか。

1. 良くなったと感じる
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

問2 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。（複数回答可）

1. 景観の向上
2. 生物多様性の保全・向上
3. ヒートアイランド現象の緩和
4. 緑陰の増加
5. 都市緑化への県民の関心の高まり
6. その他（

以下の6項目を削除

- 大気の浄化
- 二酸化炭素の吸収
- 防音
- 防風
- 防塵
- 冷暖房費の減少

問3 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施箇所において、良かったことはありますか。(複数回答可)

1. 訪問者、見学者が増加した
2. ゴミが減った。清潔になった
3. イベントの開催が増えた
4. 環境学習の利用が増えた
5. 近所との交流が増えた
6. 地域で評判になった
7. その他 ()

問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、貴市町村にとって満足できる事業ですか。

①身近な緑づくり事業(都市における樹林地の保全・創出を図る事業)

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

【理由】

()

②緑の街並み推進事業(民有地の緑化を推進する事業)

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

【理由】

()

③美しい並木道再生事業(街路樹の植替えにより美しい並木道再生する事業)

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

【理由】

()

④県民参加緑づくり事業(県民参加での緑化活動等を推進する事業)

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

【理由】

()

問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業では、どのような事業を行うことができるとお考えですか。（複数回答可）

1. 都市において、樹林地の保全や緑地の創出を図る事業
2. 公共施設の壁面緑化・屋上緑化等を推進する事業
3. 民間の緑化を推進する事業
4. 街路樹の植栽・植替えを推進する事業
5. 県民の緑化活動への参加を推進する事業
6. 花と緑を活用し都市緑化の普及啓発を行う事業
7. 講習会などの実施により県民の緑化知識・技術の向上を促す事業
8. ビオトープの整備を推進する事業
9. 校庭や園庭の芝生化を推進する事業
10. その他（)

問6 その他、あいち森と緑づくり事業による都市緑化の取組について、御意見、御要望などがありましたら自由にお書きください。

[]

御協力ありがとうございました

環境活動・学習推進事業【市町村用】アンケート (全市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（環境活動・学習推進事業）について、貴市町村の環境部局の方のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

「環境活動・学習推進事業」： NPOやボランティア団体、自治会、市町村等を対象とし、森と緑の保全活動や環境学習に関する自発的な取組の実施に要する経費を交付する事業。

※以下の問いについて、貴市町村の現状や考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 この事業をご存じですか。

1. 知っている
2. 知らない

○ここからは、貴市町村が交付団体としてこの事業を活用することについてお聞きします。

問2 貴市町村は、交付団体としてこの事業を活用していますか。

1. 今年度活用している
2. 以前、活用したことがある
3. これまで活用したことがない

問3 貴市町村（環境部局）は、交付団体として今後この事業を活用したいと考えますか。

1. 是非活用したい (⇒問4-1へ)
2. 活用を検討したい (⇒問4-1へ)
3. 今のところ活用は考えていない (⇒問4-2へ)
4. 今後も活用する必要はない (⇒問4-2へ)

問4-1 問3で1または2と回答された市町村にお聞きします。この事業では、交付対象事業を別表のとおりとしています。これに該当しない事業を含めて、今後、この事業の交付金により支援を受けたいと考える活動があれば具体的にお書きください。(自由記述)

()

【別表】 交付対象事業

交付対象事業	取組内容
1 森・緑の育成活動事業	里地・里山や水辺等において、多様な生態系の保全や、ふれあいの場の創出など、健全な緑を保全・育成するため継続的に実施する事業
2 森・緑の育成活動の取組立ち上げ事業	上記1の取組を新たに立ちあげるために必要となる事業
3 水と緑の恵み体感事業	森林の水源涵養機能や人を始めとした生物が享受している緑による水の恩恵を学ぶ事業
4 森林文化の体験・学習事業	山村と都市の交流を通して地域の森林文化を体験・学習する事業
5 森林生態系保全の学習事業	森林生態系の保全の大切さや手法を学ぶ事業
6 太陽・自然の恵み学習事業	地球温暖化の防止やヒートアイランド現象の緩和に役立つ緑(植物)の生育を通じた太陽や自然の恵みを学ぶ事業
7 独自提案による環境保全活動・環境学習事業	上記の1～6に該当しない、創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した環境保全活動・環境学習事業

問4-2 問3で3または4と回答された市町村にお聞きします。この事業を活用しない理由をお書きください。(自由記述)

()

〇ここからは、貴市町村とNPO等との関わり等についてお聞きします。

問5 貴市町村内においてこの事業を活用しているNPO等を把握していますか。

1. 把握している
2. 把握していない

問6 貴市町村（環境部局）は、この事業を活用しているNPO等との関わりはありますか。

1. ある（⇒問7へ）
2. ない（⇒問8へ）

問7 問6で1と回答された市町村にお聞きします。具体的にどのような関わりがありますか。（該当するもの全てに〇）

1. 申請、請求等の手続きの支援
2. 活動内容への助言、技術的支援
3. 活動場所の提供
4. 資材、機材等の提供
5. 活動への職員の参加
6. イベント等の広報協力
7. その他（具体的に

）
（⇒問8へ）

問8 この事業について、NPO等から要望等を受けたことがありますか。ある場合は内容を具体的にお書きください。

1. ある（具体的に
2. ない

問9 環境活動・環境学習に関して、貴市町村の施策で独自にNPO等に対して行っているものをお答えください。

1. 補助金、交付金
2. 活動内容への助言、技術的支援
3. 活動場所の提供
4. 資材、機材等の提供
5. 活動への職員の参加
6. イベント等の広報協力
7. その他（具体的に

）

○最後に、あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進の取組全般についてお聞きします。

問10 あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進の取組を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 内容を変えて続けた方がよい
3. 続けなくてよい

【理由】

[]

問11 その他、あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進について、御意見、御要望などがありましたら自由に書いてください。

[]

御協力ありがとうございました

木の香る学校づくり推進事業【市町村用】アンケート

(全市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（木の香る学校づくり推進事業）について、貴市町村の関係部局の方のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

「木の香る学校づくり推進事業」：市町村が公立小中学校の子どもたちの机・椅子、下駄箱、ロッカーなどに愛知県産木材を利用した製品を導入する取組を支援する事業

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 この事業をご存じですか。

1. 知っている
2. 知らない

問2 県産木材に限らず、国産材を使った木製の机・椅子^{※注}、下駄箱、ロッカーなどの導入を行っていますか。

1. 「木の香る学校づくり推進事業」により導入している（⇒問3へ）
2. 独自に導入している（⇒問4へ）
3. 実施していない（⇒問5へ）
4. 導入を検討中（⇒問6へ）

※注 机・椅子の全てが木製であるものだけでなく、机の天板、椅子の座面など一部分に国産木材が使用されているものもあります。

問3 問2で「1. 木の香る学校づくり推進事業により導入している」と答えた方にお聞きします。

問3-1 「木の香る学校づくり推進事業」を利用したきっかけはなんですか。

1. 木製の机・椅子等を導入しようと考えていた
2. 県の勧め
3. 愛知県産木材が使用されているから
4. その他（)

問3-2 「木の香る学校づくり推進事業」を実施した学校は何校ありますか。(実数)
(平成21年度～平成28年度末)

小学校 () 校
中学校 () 校

問3-3 事業実施のための事務手続きはスムーズに行えましたか。

- 1. 問題なく行えた
 - 2. 煩雑だった
 - 3. 分かりにくかった
- (【理由】)

問3-4 木の香る学校づくり推進事業(事業及び導入した机・椅子等)はあなたの市町村にとって満足できるものでしたか。

(1) 事業について

- 1. 満足
 - 2. 不満
- (【理由】)

(2) 導入した机・椅子について

- 1. 満足
 - 2. 不満
- (【理由】)

問3-5 事業を実施した学校の反応はいかがでしたか。

- 1. 好評だった
- 2. あまり反応は無い
- 3. 不評だった

【理由】

()

(⇒問6へ)

問4 問2で「2. 独自に導入している」と答えた方にお聞きします。

問4-1 木の香る学校づくり推進事業を利用しなかった理由は何ですか。

1. 事業開始前だった
2. 規格・仕様が合わなかった
3. 愛知県産木材以外の国産材の製品を導入している
4. その他（)

問4-2 木製机・椅子等を導入した学校の反応はいかがでしたか。

1. 好評だった
2. あまり反応は無い
3. 不評だった

【理由】

()

(⇒問6へ)

問2で「3. 実施していない」と答えた方にお聞きします。

問5 木の香る学校づくり推進事業を実施していない理由は何ですか

1. 規格・仕様が合わなかった
2. 欲しい製品がない
3. 木製の机・椅子等を導入する気はない

【理由】

4. その他（)

(⇒問6へ)

問6 木の香る学校づくり推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 内容を変えて続けた方がよい
3. 続けなくて良い

【理由】

()

問7 木の香る学校づくり推進事業を平成31年度以降も続けていった場合、木製机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入する時は、事業を利用しようと思いますか。

1. 利用すると思う
2. 事業内容が改善されれば利用すると思う
3. 利用すると思わない

【理由】

()

問8 問3-4で「不満」、問3-5で「不評だった」、問6で「内容を変えて続けた方がよい」又は問7で「事業内容が改善されれば利用すると思う」と答えた方にお聞きします。具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問9 その他、木の香る学校づくり推進事業について、御意見、御要望などがありましたら自由に書いてください。

()

御協力ありがとうございました

愛知県産木材利活用推進事業【市町村用】アンケート (全市町村が対象)

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（愛知県産木材利活用推進事業）について、貴市町村の関係部局の方のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

「愛知県産木材利活用推進事業」：

自発的な森林整備につなげるため、市町村が実施する、間伐材の搬出促進の取組や、県産木材の利用拡大の普及のための取組（公共施設への愛知県産木材のベンチ導入）を支援する事業。

※以下の問いについて、貴市町村の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 この事業をご存じですか。

1. 知っている
2. 知らない

問2 本事業を活用して、間伐材の搬出促進または愛知県産木材を利用した木製ベンチの導入を行っていますか。

1. 実施している。（⇒問3へ）
2. 実施していない（⇒問4へ）

問3 問2で「1. 実施している」と答えた方にお聞きします。

問3-1 間伐材の搬出促進について、あなたの市町村にとって満足できるものでしたか。

1. 満足
2. 不満

【理由】

問3-2 ベンチ導入について、あなたの市町村にとって満足できるものでしたか。

1. 満足
2. 不満

【理由】

問 3-3 ベンチを導入した施設の利用者の反応はいかがでしたか。

1. 好評だった
2. あまり反応はない
3. 不評だった

【理由】

()

⇒【問5へ】

問4 問2で「2. 実施していない」と答えた方にお聞きします。

問 4-1 これまで、この事業を実施していない理由を教えてください。

1. 事業があることを知らなかった
2. 地域からの要望がない
3. 地域からの要望はあるが採択要件に合わない
4. 事業の必要がない
5. 事業の承諾が得られない
6. 他の業務で多忙である
7. 事業の制度上に問題がある

【理由】

8. その他（具体的に）

()

⇒【問5へ】

問5 皆様にお聞きします。

問 5-1 間伐材の搬出促進の支援を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 続けなくて良い

【理由】

()

3. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問6-1へ)

問5-2 ベンチ導入の支援を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 続けなくて良い

【理由】

()

3. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問6-2へ)

問6 問5で「3. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。

問6-1 間伐材の搬出促進の支援について、どのような内容に変えたらよいと思いますか。

()

問6-2 ベンチ導入の支援について、どのような内容に変えたらよいと思いますか。

(複数回答可)

1. 公共施設の木造化
2. 公共施設の内装木質化
3. ベンチ以外の木製の備品導入

()

- 4 その他

()

問7 その他、あいち森と緑づくり事業による間伐材の搬出促進や、県産木材の利用拡大の普及について、御意見、御要望などがありましたら自由に書いてください。

()

御協力ありがとうございました

人工林整備事業【森林所有者用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題等に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（人工林整備事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください

問1 **あいち森と緑づくり**事業で行った間伐で、あなたの**森林**が良くなったと思いますか。

1. 良くなった
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

問2 **林業で一般的に行われる間伐よりも**強度な間伐（本数率で**約40%**）を実施して、どう思いましたか。

1. もっと伐ってもよかった
2. ちょうどよかった
3. これほど伐らない方がよかった

【理由】

()

問3 **あいち森と緑づくり**事業で行った間伐は、あなたにとって満足できるものでしたか。

1. 満足だった
2. どちらでもない
3. 不満だった

【理由】

()

問4 **あいち森と緑づくり事業**による間伐を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. **このまま**続けた方がよい
2. **内容を変えて**続けた方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問5 問3で「不満だった」又は問4で「内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問6 **あいち森と緑づくり事業**による間伐について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

()

御協力ありがとうございました

人工林整備事業【事業体用】アンケート

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください

※平成21年度～平成28年度までの期間についてお聞きします。

問1 あなたの会社は、あいち森と緑づくり事業（人工林整備事業）を受注したことがありますか。

1. 受注したことがある
2. 受注したことはない

問2 あなたの会社は、あいち森と緑づくり事業が始まったことをきっかけに新規就労者を雇用しましたか。

1. 雇用した（⇒問3へ）
2. 雇用していない（⇒問4へ）

問3 問2で「1. 雇用した」と答えた方にお聞きします。

問3-1 雇用した就労者は何人ですか。

_____人（左のうち離職者 人）

問3-2 雇用した就労者はあいち森と緑づくり事業に従事しています（していました）か。

1. 従事している（していた）
2. 従事していない（⇒問5へ）

問3-3 あいち森と緑づくり事業が会社の雇用に効果があった（雇用するきっかけとなった）と考えられますか。

1. 考えられる
2. 考えられない（【理由】 _____）

問4 問2で「2. 雇用していない」と答えた方にお聞きします。雇用しなかった理由は何ですか。

1. 新規に雇用しなくても現状の従業員で対応できる（できた）
2. あいち森と緑づくり事業（人工林整備事業）を受注するつもりがない
3. 採算がとれるかどうか分からないので様子を見ている
4. その他（具体的に _____）

問5 問3-2で「2. 従事していない」と答えた方にお聞きします。従事していない理由は何ですか。

1. あいち森と緑づくり事業（人工林整備事業）を受注できていない
2. 技術を習得中
3. その他（具体的に _____）

里山林整備事業【森林所有者用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（里山林整備事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 **生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全**などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。

1. あいち森と緑づくり事業による里山林の整備の前から知っていた
2. 里山林の整備の後に知った
3. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備で、あなたの森林が良くなったと思いますか。

1. 良くなった
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

問3 **あいち森と緑づくり事業による**里山林の整備は、あなたにとって満足できるものでしたか。

1. 満足だった
2. どちらでもない
3. 不満だった

【理由】

()

問4 **あいち森と緑づくり事業による**里山林の整備を行ったことで、あなたはその森林に行く回数が増えましたか。

1. 増えた
2. 以前と変わらない
3. 減った

【理由】

()

問5 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、**平成31年度以降も**続けた方がよいと思いますか。

1. **このまま**続けた方がよい
2. **内容を変えて**続けた方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問6 問3で「不満だった」又は問5で「内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問7 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

[]

御協力ありがとうございました

里山林整備事業【地域活動団体用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題等に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（里山林整備事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、あなたがたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 **生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全**などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていますか。

1. あいち森と緑づくり事業による里山林の整備の前から知っている
2. 里山林の整備の際に知った
3. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備で、あなたがたが関わっている森林が良くなったと思いますか。

1. 良くなった
2. 以前と変わらない
3. 悪くなった

【理由】

()

問3 **あいち森と緑づくり事業による**里山林の整備は、あなたがたにとって満足できるものでしたか。

1. 満足だった
2. どちらでもない
3. 不満だった

【理由】

()

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、県内の各地で平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい (⇒問6へ)
2. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問5へ)
3. 続けなくてよい (⇒問6へ)
4. 分からない (⇒問6へ)

【理由】

()

問5 問4で「内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。
具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

(⇒問6へ)

問6 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

()

御協力ありがとうございました

森林整備技術者養成研修【事業体用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（森林整備技術者養成研修）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 あなたの会社から何人の受講生が参加しましたか。

（同じ人が複数年にわたり受講する場合も各年度の人数に含める）

平成21年度	_____人	平成25年度	_____人
平成22年度	_____人	平成26年度	_____人
平成23年度	_____人	平成27年度	_____人
平成24年度	_____人	平成28年度	_____人

問2 受講生の習得した技術が実際の現場で役立っていますか。

1. 役立っている
2. 以前と変わらない
3. 役立っていない

【理由】

()

問3 研修の内容は満足できるものでしたか。

1. 満足（⇒問4へ）
2. 不満（⇒問5へ）
3. どちらでもない

【理由】

()

問4 講義内容ではどういった点が満足でしたか。

1. 期間が短い
2. 期間が長い
3. 講義内容が充実
4. 講師が充実
5. 資格が取れる
6. その他（具体的に _____)

(⇒問6へ)

問5 講義内容ではどういった点が不満でしたか。

1. 期間が短い
2. 期間が長い
3. 講義内容が良くない
4. 講師が良くない
5. その他（具体的に _____)

(⇒問6へ)

問6 あなたの会社から研修を受講した作業員は、あいち森と緑づくり事業に従事しましたか。

1. 従事した (⇒問7へ)
2. 従事しなかった (⇒問8へ)

問7 問6で「1. 従事した」と答えた方にお聞きします。何人の方が従事しましたか。

平成21年度	_____人	平成25年度	_____人
平成22年度	_____人	平成26年度	_____人
平成23年度	_____人	平成27年度	_____人
平成24年度	_____人	平成28年度	_____人

(⇒問9へ)

問8 問6で「2. 従事しなかった」と答えた方にお聞きします。従事しなかった理由は何か。

1. 受注しなかった
2. 受講した作業員が会社を辞めてしまった
3. 他の作業に従事している
4. その他（具体的に _____)

(⇒問9へ)

問9 **あいち森と緑づくり事業による**森林整備技術者養成研修を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい (⇒問 11 へ)
2. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問 10 へ)
3. 続けなくてよい (⇒問 11 へ)
4. 分からない (⇒問 11 へ)

【理由】

()

問 10 問9で「2. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。
具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問 11 **あいち森と緑づくり事業による**森林整備の技術者養成について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

()

御協力ありがとうございました

森林整備技術者養成研修【受講者用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（森林整備技術者養成研修）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 研修はいつ受講しましたか。（研修修了年度でお答えください）

平成21年度 ・ 平成22年度 ・ 平成23年度
平成24年度 ・ 平成25年度 ・ 平成26年度
平成27年度 ・ 平成28年度

問2 習得した技術が実際の現場で役立っていますか。

1. 役立っている
2. 以前と変わらない
3. 役立っていない

【理由】

()

問3 あなたが受講した講義内容は満足できるものでしたか。

1. 満足
2. 不満

【理由】

()

問4 あなたが受講した講義内容で満足できるものは何でしたか。

1. 安全講習
2. 密生間伐（～23年度）
3. 技能講習
4. 道沿い間伐
5. ロープテクニク等による樹上伐採作業

問5 あなたが受講した講義内容で不満だったものは何でしたか。

1. 安全講習
2. 密生間伐（～23年度）
3. 技能講習
4. 道沿い間伐
5. ロープテクニク等による樹上伐採作業

問6 あいち森と緑づくり事業による森林整備技術者養成研修を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. 内容を変えて続けた方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問7 問3で「不満」又は問6で「内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問8 **あいち森と緑づくり事業による**森林整備の技術者養成について、御意見、御感想などがありましたら自由にご記入ください。

[]

御協力ありがとうございました

都市緑化推進事業【芝生化事業者用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（都市緑化推進事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業は、どこで知りましたか。

1. 新聞
2. 県、市町村の広報誌等
3. ポスター・チラシ等
4. ホームページ
5. 建設会社、設計会社等
6. その他（ ）

問2 芝生化を行ったのは、あいち森と緑づくり事業の補助金があったからですか。

1. 補助金があったから実施した
2. 補助金がなくても実施した

問3 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。（複数回答可）

1. 景観の向上
2. 生物多様性の保全・向上
3. 防塵
4. ヒートアイランド現象の緩和
5. 都市緑化への関心の高まり
6. その他（ ）

冷暖房費の減少を
削除

問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施箇所において良かったことはありますか。(複数回答可)

1. 訪問者、見学者が増加した
2. ゴミが減った。清潔になった
3. イベントの開催が増えた
4. 環境学習の利用が増えた
5. 近所との交流が増えた
6. 地域で評判になった
7. その他 ()

問5 校庭・園庭を芝生化したことにより、子どもたちの利用のしかたは変わりましたか。また、どのように変わりましたか。

1. 変わった (⇒問6へ)
2. 変わらない (⇒問7へ)

問6 子どもたちの利用のしかたは、どのように変わりましたか、

1. イベント等で活用するようになった
2. 維持管理活動を行うようになった
3. その他 ()

(⇒問8へ)

問7 芝生化したことで子どもたちへどのような効果がありましたか。(複数回答可)

1. 体力がついた
2. けがをしなくなった
3. 運動成績向上
4. 環境への興味
5. 活発になった
6. その他 ()

以下の2項目を削除

- ・食事をよく食べる
- ・睡眠時間増加

問8 芝生化した校庭・園庭について、情報公開、PRをどのように行っていますか。(複数回答可)

1. ホームページ
2. 団体の広報誌
3. マスコミ等の取材
4. パンフレット
5. PR看板の設置
6. 他団体への紹介
7. その他 ()

問9 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、満足できる事業ですか。

1. 満足
2. やや満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満

【理由】

[]

問10 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. 続けた方がよい
2. 続けなくてよい

【理由】

[]

御協力ありがとうございました

問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。(複数回答可)

1. 景観の向上
2. 生物多様性の保全・向上
3. ヒートアイランド現象の緩和
4. 緑陰の増加
5. 都市緑化への関心の高まり
6. その他 (

以下の6項目を削除

- ・大気の浄化
- ・二酸化炭素の吸収
- ・防音
- ・防風
- ・防塵
- ・冷暖房費の減少

)

問6 あいち森と緑づくり事業の実施箇所について、情報公開、PRをどのように行っていますか。(複数回答可)

1. ホームページ
2. 団体の広報誌
3. マスコミ等の取材
4. パンフレット
5. PR看板の設置
6. 他団体への紹介
7. その他

(

)

問7 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、満足できる事業ですか。

1. 満足
2. やや満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満

【理由】(

)

問8 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. 続けた方がよい
2. 続けなくてよい

【理由】(

)

ご協力ありがとうございました

環境活動・学習推進事業【事業実施団体用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（環境活動・学習推進事業）について、昨年度に交付金を活用されたボランティア団体等の方のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、貴団体の現状や考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 貴団体が活動を継続、発展させていく上で、課題となっていることは何ですか。（複数回答可）

1. 活動資金
2. 活動に参加するメンバーの不足
3. 活動メンバーの固定化、高齢化
4. 専門知識、専門技術の不足
5. 活動内容のマンネリ化
6. 活動場所の確保
7. イベント等の集客
8. その他

課題を具体的にお書きください。（自由記述）

()

問2 この事業を活用して、貴団体の活動にどのような効果がありましたか。

（複数回答可）

1. 新たな活動を立ち上げられた
2. 既存の活動の規模が拡大した
3. 活動内容に新たな展開が得られた
4. 既存の活動を継続できた
5. 活動メンバーの自己負担が減った
6. 団体の信用や知名度が向上した
7. その他

効果を具体的にお書きください。（自由記述）

()

問3 貴団体は、**今後も**この事業を活用したいと考えますか。

1. 是非活用したい (⇒問5へ)
2. 活用を検討したい (⇒問5へ)
3. 今のところ活用は考えていない (⇒問4へ)
4. 今後は活用する必要はない (⇒問4へ)

問4 問3で「3. 今のところ活用は考えていない」または「4. 今後は活用する必要はない」と回答された団体にお聞きします。この事業を活用しない理由をお書きください。

1. 申請等の手続きの負担が大きい
2. この事業と活動したい内容がマッチしていない
3. 交付を受けなくても資金面の問題がない
4. その他（具体的に： _____ ）

問5 この事業では、交付対象事業を別表1のとおりとしていますが、これに該当しない事業を含めて、今後、この事業の交付金により支援を受けたいと考える活動があれば具体的にお書きください。（自由記述）

[自由記述欄]

【別表1】 交付対象事業

交付対象事業	取組内容
1 森・緑の育成活動事業	里地・里山や水辺等において、多様な生態系の保全や、ふれあいの場の創出など、健全な緑を保全・育成するため継続的に実施する事業
2 森・緑の育成活動の取組立ち上げ事業	上記1の取組を新たに立ち上げるために必要となる事業
3 水と緑の恵み体感事業	森林の水源涵養機能や人を始めとした生物が享受している緑による水の恩恵を学ぶ事業
4 森林文化の体験・学習事業	山村と都市の交流を通して地域の森林文化を体験・学習する事業
5 森林生態系保全の学習事業	森林生態系の保全の大切さや手法を学ぶ事業
6 太陽・自然の恵み学習事業	地球温暖化の防止やヒートアイランド現象の緩和に役立つ緑（植物）の生育を通じた太陽や自然の恵みを学ぶ事業
7 独自提案による環境保全活動・環境学習事業	上記の1～6に該当しない、創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した環境保全活動・環境学習事業

問6 この事業では、交付対象経費を別表2のとおりとしていますが、これに該当しない経費を含めて、交付対象として認めてほしい経費があれば具体的に書きください。(自由記述)

[]

【別表2】 交付対象経費一覧 (ボランティア団体等対象)

①里山整備計画作成及び保全活動協定締結のための測量・調査に要する経費
②活動のための交通費、ガソリン代、駐車場代
③消耗品・資材・用具等の購入・借上・維持修繕費
④講演会、講習会等の講師に対する謝金
⑤広報・印刷費 (テキスト、プログラム、ポスター、チラシ等の印刷費など)
⑥活動の際の保険料・資材運搬費 (郵送料、宅配料など)
⑦会議室等の借上費 (会場使用料、付帯設備費など)
⑧その他事業活動に必要と認められる経費 (簡易工事費など)

備考) 次の経費については、交付対象外

- (1) 団体の日常的な運営費、人件費 (講師謝金除く。)
- (2) 交際費及び接待費 (祝儀、花束、手土産等)
- (3) 賞金、賞品、記念品代等
- (4) 通信費 (電話、FAX、インターネット等)

問7 あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進の取組を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

[]

問8 その他、あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。



御協力ありがとうございました

木の香る学校づくり推進事業【導入校用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（木の香る学校づくり推進事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、貴校の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 あいち森と緑づくり事業（木の香る学校づくり推進事業）により愛知県産の木材を使用した木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入していかがでしたか。

1. もっと導入したい
2. 導入を完了した（または完了予定）
3. 導入したくない

【理由】

()

問2 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について児童生徒に知ってもらうきっかけとして有効でしたか。

1. 有効だった
2. 有効ではなかった

【理由】

()

問3 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入したことによる児童生徒たちの反応はいかがでしたか。

1. 好評だった
2. あまり反応はなかった
3. 不評だった

【理由】

()

問4 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入したことによる先生たちの反応はいかがでしたか。

1. 好評だった
2. あまり反応はなかった
3. 不評だった

【理由】

()

問5 木製机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入したことによる保護者等の反応はいかがでしたか。

1. 好評だった
2. あまり反応はなかった
3. 不評だった

【理由】

()

問6 木の香る学校づくり推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい (⇒問8へ)
2. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問7へ)
3. 続けなくてよい (⇒問8へ)
4. 分からない (⇒問8へ)

【理由】

()

問7 問6で「2. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。
具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問8 あいち森と緑づくり事業による木製机・椅子、下駄箱、ロッカー等の導入について御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

(導入前との比較や、導入後の児童生徒の様子、保護者等の意見、事業への要望など)



御協力ありがとうございました

不明な点があれば後日お問い合わせするかもしれませんので、連絡先をご記入ください

学 校 名： _____

ご担当者： _____

電話番号： _____

木の香る学校づくり推進事業【製造業者用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（木の香る学校づくり推進事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

「木の香る学校づくり推進事業」： 公立小中学校の子どもたちの机・椅子、下駄箱、ロッカー等に愛知県産木材を使用した製品の導入を進める事業

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 愛知県で、「木の香る学校づくり推進事業」を実施していますが、この事業以外でも愛知県内の小中学校に愛知県産木材を使った木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を納入したことがありますか。

（納入先の市町村名もご記入ください。）

1. 木の香る学校づくり推進事業でしか納入したことがない
（市町村名： _____）
2. 木の香る学校づくり推進事業以外でも納入したことがある
（市町村名： _____）
3. 分からない
（市町村名： _____）

問2 愛知県産木材を使った木製の机・椅子^{※注}、下駄箱、ロッカー等の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を図るのに有効だと思いますか。

1. 有効だと思う
2. 有効と思わない

【理由】

（理由を記入するスペース）

※注 木製机・椅子とは、少なくとも机の天板、椅子の座面及び背面のどこか触れられる部分に愛知県産木材が使用されているもの

問3 **木の香る学校づくり推進事業**により、愛知県産木材を利用した児童生徒用学習机・椅子、**下駄箱、ロッカー等**を導入する学校が増えた（増える）と思いますか。

1. 思う
2. 思わない
3. 分からない

【理由】

()

問4 木の香る学校づくり推進事業を**平成31年度以降**も続けた方がよいと思いますか。

1. **このまま**続けた方がよい (⇒問6へ)
2. **内容を変えて**続けた方がよい (⇒問5へ)
3. 続けなくてよい (⇒問6へ)
4. 分からない (⇒問6へ)

【理由】

()

問5 問4で「**2. 内容を変えて続けた方がよい**」と答えた方にお聞きします。
具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問6 木の香る学校づくり推進事業について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

()

御協力ありがとうございました

愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入）
【導入施設用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（愛知県産木材利活用推進事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

※以下の問いについて、貴施設の考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 愛知県産木材を利用した木製ベンチを導入していかがでしたか。

1. もっと導入したい
2. 導入完了した（または完了予定）
3. 導入したくない

【理由】

()

問2 愛知県産木材を利用した木製ベンチの導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について施設利用者に知ってもらうきっかけとして有効でしたか。

1. 有効だった
2. 有効ではなかった

【理由】

()

問3 愛知県産木材を利用した木製ベンチの導入を導入したことによる施設利用者の反応は、いかがでしたか。

1. 好評だった
2. あまり反応はなかった
3. 不評だった

【理由】

()

問4 愛知県産木材利活用推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい (⇒問6へ)
2. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問5へ)
3. 続けなくてよい (⇒問6へ)
4. 分からない (⇒問6へ)

【理由】

()

問5 問4で「2. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。
具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

()

問6 あいち森と緑づくり事業による県産木材の利用拡大の普及について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。(導入前との比較や、導入後の利用者の意見など)

()

御協力ありがとうございました

不明な点があれば後日お問い合わせするかもしれませんので、連絡先をご記入ください

施設名： _____

ご担当者： _____

電話番号： _____

愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入） 【製造業者用】アンケート

あいち森と緑づくり事業は平成21年度から10年間の事業計画に基づき実施しており、今年度（平成29年度）で9年目を迎えることとなりました。

そのため、これまでの事業実績を評価するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題に対する今後の対応を検討する必要があります。

つきましては、事業（愛知県産木材利活用推進事業）に関わった方々のお声を聞かせていただき、事業評価や今後の取組の検討の参考としたいので、以下のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

愛知県産木材利活用推進事業： 間伐材の搬出支援や、公共施設への愛知県産木材のベンチ導入を支援する事業

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いものを○で囲んでください。

問1 愛知県では「愛知県産材利活用推進事業」を実施していますが、この事業以外でも公共施設に愛知県産木材を利用した木製のベンチを納入したことがありますか。

（納入先の市町村名もご記入ください。）

1. 愛知県産材利活用推進事業でしか納入したことがない
（市町村名： _____ ）
2. 愛知県産材利活用推進事業以外でも納入したことがある
（市町村名： _____ ）
3. 分からない
（市町村名： _____ ）

問2 公共施設へ愛知県産木材を利用した木製ベンチを導入することは、森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を図るのに有効だと思いますか。

1. 有効だと思う
2. 有効と思わない

【理由】

()

問3 この事業により、愛知県産木材を利用したベンチを導入する市町村が増えた（増える）と思いますか。

1. 思う
2. 思わない

【理由】

[]

問4 愛知県産木材利活用推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。

1. このまま続けた方がよい (⇒問6へ)
2. 内容を変えて続けた方がよい (⇒問5へ)
3. 続けなくて良い (⇒問6へ)
4. 分からない (⇒問6へ)

【理由】

[]

問5 問4で「2. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた方にお聞きします。具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

[]

問6 あいち森と緑づくり事業による県産木材の利用拡大の普及について、御意見、御感想などがありましたら自由に書いてください。

[]

御協力ありがとうございました

(参考)

アンケート対象者(案)

対象者	送付数(※)		備考
	今回	中間時(H24)	
一般県民	3,000	3,000	納税者数の約0.1% (※人口分布を考慮して抽出)
法人	150	0	納税者数の約0.1%
市町村	54	54	全数
人工林 森林所有者	300	300	抽出
人工林 事業体	約 55	53	全数
里山林 森林所有者	100	50	抽出
里山林 地域活動団体	約 30	15	全数
森林整備技術者養成研修 事業体	約 35	34	全数
森林整備技術者養成研修 受講者	100	117	抽出
木の香る学校づくり 導入校	100	100	抽出
木の香る学校づくり 製造事業者	約 10	6	全数
都市緑化 芝生化事業者	約 80	24	全数
都市緑化 民間事業者	100	108	抽出
環境活動 団体	80	0	抽出
県産木材利活用 導入施設	約 15	0	全数
県産木材利活用 製造事業者	約 15	0	全数
	4,224	3,861	

(※対象者の母数が100以上となる場合は、抽出とする。)